

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

令和  
公表:平成2年2月13日

事業所名 支援センター はーとらいふ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			学習に集中できない児童に対して、必要時、面談室や段ボール部屋を活用している	学習時、静に行動できる子ども達が増えた為、勉強が出来る環境が良くなり、相談室や段ボール部屋を使用することもなくなった。今後も子ども達の意思を聞いて、状況にあわせて工夫していきたい
	2	職員の配置数は適切である	4				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4			駐車場から玄関までスロープ、室内もフロアリングの段差無し。一部にスポンジ製のマット使用。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			日々、業務の振り返りを行っている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			アンケート結果を把握し、職員で共有業務改善につなげています	今後も、保護者等の意向を把握し、業務改善に繋げていきたい
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			月1回の会報等で公表(ホームページ)	継続していく
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			4		今後、検討中である
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			職員全員が同じ研修が受けられるよう、配慮されている	継続していく
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			児童発達管理責任者を中心に、職員全員で会議を行い、計画書作成に活かしている	継続していく
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			職員1人1人が立案し、話し合いを行い進めている	地域との関わりが持てるよう活動プログラムに取り入れていきたい
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			児童の意見を取り入れ、活動に取り入れている	今後もプログラムの固定化していかないよう検討していく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			戸外活動を取り入れることを多くし、課題を決め計画書を作成している	日程表を作成し、記録に残すようにしている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4			子供の状況に応じて作成している	個別活動と集団活動が、もっとわかりやすいように計画書を作成する。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			職員朝礼時に、保護者からの連絡事項、相談等の報告情報共有。役割分担の確認	継続していく
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			支援記録を用い、情報を共有している	継続していく
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			職員からの情報を収集し、当時の活動内容や、児童の様子、支援方法を職員と共有し記録する	継続していく
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			児童発達管理責任者、職員間で話し合いを行い、児童の発達状況に応じ見直しを判断	継続していく	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	2	2		基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	今後、学校で作成されている個別支援計画等と放課後デイサービス計画を連携させていく	



関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1	児童発達責任者を中心に行っている	継続していく	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		送迎時に担任と情報を共有。学校便りはコピーして保管。必要時、学校での会議に参加。	継続していく	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			4	該当児無し	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4			保護者、相談員からの情報を共有。保育所や幼稚園を訪ねて、児童の様子や担任との情報を共有している	継続していく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			4	該当児無し	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4			他事業所との合同研修を定期的に行っている。	継続していく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	2		児童クラブや児童館との交流はないが、学童と併用することで、活動を通して健常児との関わりがある	継続していく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			4		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			連絡帳や送迎時に保護者へ報告。必要時、電話連絡・個別面談を行っている	継続していく
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	4			保護者からの個別相談時に支援を行っている	継続していく
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			利用契約時に、保護者が理解しやすいように説明を行い、必要時に再度説明を行っている	継続していく
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			相談時は、保護者との時間調整を行い面談を行っている	継続していく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4			父母の会活動支援は、出来る範囲内で行っている。年1回の保護者会開催している	保護者からの希望があれば、保護者会の回数を増やしていくよう、検討していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			苦情ボックスを設置している。相談や要望があった場合、その都度対応している	継続していく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4			月間は一とらいつ便りを毎月発し、情報公開している(活動内容・行事等)	継続していく
	35	個人情報に十分注意している	4			職員へは、起用契約時に説明。契約書を交わす	他機関との情報共有の為、保護者からの同意書を頂いているが、十分注意していく
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			連絡帳や送迎時を通じて、伝達している	継続していく
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2		ボランティアの受け入れを行っている。地域の方の協力を得て、みかん狩りを行った。	地域の方々と触れ合える活動を重ねて行き、より良い関係作りをすることで、地域の方々を招待できるようにしていきたい
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4			職員にマニュアルを周知している	次年度は消防隊員に協力を得て実施する計画である
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			7月、11月と2回訓練実施。7月は消防隊員(保護者)の協力を得て、訓練を行った	継続していく